



## 2024年度年末手当 2.8ヵ月+0.1ヵ月

すべての仲間と共に、“働きがい”“生きがい”“こころの豊かさ”を実感し  
“真の笑顔と活気あふれる職場”を創造するために立ち上がろう！  
～2024年度年末手当の妥結にあたって～

11月12日、JR東日本は「基準内賃金の2.8ヶ月分とし、特に0.1ヶ月分を加算し2.9ヶ月分とする」と2024年度年末手当の回答を示した。職場では、一人ひとりの努力を足蹴にする低額回答に愕然とし、回答が公表された直後から現在に至ってもなお、怒りと失望の声が溢れている。JR東日本輸送サービス労働組合は、職場の声と努力を踏みにじり、低額回答を平然と行うJR東日本会社の経営姿勢に強く抗議するものである。

JR東日本輸送サービス労働組合は、働きがいのある人間らしい仕事、真の笑顔と活気あふれる職場を創造するために、基準内賃金の3.5ヵ月+5万円の要求実現に向けて、すべての仲間とともに団体交渉をつくり上げてきた。そして、経営陣が述べた「コロナ前には戻らない」という言葉を払い除けるように、職場の奮闘で業績回復の展望を切り拓いてきた事実に基づき、満額回答の必然性を訴え続けてきた。しかし、会社は「本業の力を示す営業利益は126.4%と業績は回復している一方、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい」「欧米における高い金利水準への不安がある」「より一層の増収とコストダウンが必要」などと、将来的な経営への不安を理由に、より一層の努力を強調し続けた。サステナブルな経営を実現するための強気な投資とは相反して、働く者には出し渋るという経営判断の溝は最後まで埋まることはなかった。したがって、11月12日の申12号第3回交渉において、労使の合意形成を図ることは困難と判断し、会社回答に対して「席上妥結には至らない」と通告した。そして、第3回交渉直後に開催した全地本代表者会議で「2024年度年末手当回答の再考を求める申し入れ」を行うことを決定し、即日申し入れた。

年末手当回答の再考を求めた申17号交渉では、改めてコロナ危機と赤字経営を乗り越えた社員の奮闘を年末手当で評価すること。また、JR東日本の発展と更なる収益確保の基礎になる「働きがいのある人間らしい仕事」ができる労働環境を実現すること。そして、一部社友会の懇親会に高額の寸志を渡す不平等を是正し、全ての社員に年末手当で平等に還元することなどを強く求め、侃々諤々の議論を行った。会社は、物価上昇の中で苦しさが増す生活や、要員不足の中でも奮闘したことへの評価を求める声を受け止めると述べつつも、対立した「2.8ヵ月+0.1ヵ月」という会社回答に対する認識は埋まることなく、回答の再考を実現することはできなかった。

しかし、職場は会社が言うような「バラ色」ではない。「変革」「融合と連携」「サステナブル」など、「変化」と「挑戦」のために美辞麗句が飛び交い、その一方で、要員不足で25日に勤務発表できない就業規則違反が発生している。さらには、休日出勤が月250件以上、委員会活動や企画業務等を行うことで月30時間超の時間外労働が常態化している職場さえもある。また、輪軸圧入に関する不正改ざんなど、「安全第一」の企業文化に反する隠ぺい体質までもが露わになった事態に、JR東日本経営陣の経営責任を問い質し、組合員の労苦と悲痛な声に踏まえた諸問題解決に向けて、労使が進むべき道筋の一致点を導き出した。

### 【団体交渉によって導き出した労使の一致点】

- (1) 会社の持続的発展を通じた利益である直近の業績に踏まえ、物価等の社会的動向や生活を考慮して社員の努力に適正に還元していくとともに、そのための議論を労使双方が惜しむことなくおこなっていく
- (2) 成績率の適用は、任用の基準に則り公正に判断して取扱うこととし、手当水準を補うような考えはない
- (3) 現場社員の努力による昨年度を上回る業績の結果を損なうことのないよう、すべてのサービスの信頼の基盤である「安全」をしっかり堅持していく
- (4) 超過勤務・休日出勤が前提となる勤務作成はあるべき姿ではなく、必要な要員は確保していく
- (5) これまでと同様に優秀な人材確保に積極的に取り組むとともに、離職者が増えぬよう魅力ある働きがいのもてる職場づくりに努めていく

JR東日本輸送サービス労働組合は、職場の仲間とともに作り上げた団体交渉によって導き出した労使の一致点を基礎に、全ての仲間たちと次なる運動へ歩みを進めるために、申12号及び申17号交渉について妥結する。しかし、私たちは、コロナ禍の苦しさも、経営再建を理由にして我慢を強要された歴史も忘れたわけではない。

JR東日本輸送サービス労働組合の使命は、意図的につくり出された「物言わせぬ空気」が蔓延する職場実態と企業経営のあり方に抗い、組合員の生活向上と明るい未来を求め続けることだ。これからも職場での輸送サービス労組運動を基礎に、団結と連帯を強化し輸送サービス労組の拡大を実現しよう！働く者の尊厳を守り抜くためにジョブローテーションに立ち向かおう！豊かさを形にするために諸手当改善を実現しよう！働く者の時間外労働や休日勤務の常態化を是正し、ゆとりある仕事と生活を実現しよう！そして、“働く者が真の主役になる安全なJR東日本”“真の笑顔と活気あふれる職場”を実現するために、今こそ立ち上がらなければならない！

2024年11月14日  
JR東日本輸送サービス労働組合

諸課題解決に向けて、  
労使で一致点を  
導き出し年末手当妥結！

本部交渉団の皆様、お疲れさまでした。